

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 10 陣の記録 若手産業関係者交流 対象国:ミャンマー

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、ミャンマーより社会人 13 名が 2018 年 10 月 30 日~11 月 6 日の日程で来日し、「若手産業関係者交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、東京都内で講義を聴講後、青森県を訪問し、地方自治体への表敬、テーマに関連する視察を行い、関係者と交流し、友好の絆を深めました。また、ホームスティを通して日本についての理解を深める機会を持ちました。また、日本人との交流を通して日本についての理解を深め、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)について発表しました。

【参加国・人数】ミャンマー 13 名 【訪問地】東京都、青森県

2. 日程

- 10月30日(火) 来日、【オリエンテーション】
- 10月31日(水) 【日本理解講義の聴講】

講師:SIMA国際経営研究所長 木村 秀夫 氏

【文化視察】浅草寺

【テーマ関連の視察】

株式会社Leave a Nest「センターオブガレージ」

- 11月1日(木) 東京都から青森県へ移動
 - 【表敬訪問】青森県南部町副町長

【地域概要の聴講】青森県南部町交流推進課

11月2日(金) 【テーマ関連の視察】八戸ポータルミュージアム はっち 【関係者との意見交換会】若手起業家との交流会

(青森立志の会 南部地区会)、【ホームステイ】南部町

- 11月3日(土) 【ホームステイ】
- 11月4日(日) 【ホームステイ】、【地域住民・関係者との歓送会】 【ワークショップ(成果報告会準備)】
- 11月5日(月) 青森県から東京都へ移動、【成果報告会】
- 11月6日(火) 帰国

3. プログラム記録写真



10月31日【文化視察】浅草寺



10月31日【テーマ関連の視察】 株式会社Leave a Nest「センターオブガレ ージ」



11月1日【表敬訪問】青森県南部町副町長



【テーマ関連の視察】 八戸ポータルミュージアム はっち



11月2日【関係者との意見交換会】 若手起業家との交流会(青森立志の会 南部地区会)



11月2日【ホームステイ】南部町



11月3日【ホームステイ】南部町



11月4日【ホームステイ歓送会】

4. 参加者の感想(抜粋)

◆ ミャンマー社会人

日本の歴史や文化について少し理解することができました。研究者と起業家を繋げるインキュベーションセンターがあり、それを事業として実施していることを知りました。都会と地方では人口に大きな開きがある上、少子化が進行していますが、このような人口問題を解決するための対策を関連する団体が協力して実施していることを知りました。ホームステイ体験を通じて、高齢者が生き生きと生活していることを知りました。

◆ ミャンマー社会人

日本は技術が発達しており、素晴らしいです。夜遅くまで仕事をしている日本人を見て、 驚いてしまいました。日本は島国なので、海岸がとてもきれいです。ホストファミリー から良く面倒を見ていただき感謝しています。お年寄りも仕事をしていることを知りま した。今回訪日することができて、このような機会をいただいたすべての関係者の皆様 に、感謝いたします。

◆ ミャンマー社会人

ホストファミリーと買い物をしたり、家で、夕飯を一緒に食べました。ホストファミリーは、実の家族のように私たちの面倒を見てくれました。礼儀正しく、時間を守る人たちでした。ホストファミリーの中に私たちとあまり年が違わない人がいて、友達になりました。ホームステイを通じて、日本人が時間を大切に活用していること、仕事に真剣に取り組んでいること、礼儀正しいこと、親しみやすいことを知りました。これらのことを私は忘れることはないでしょう。

5. 受入れ側の感想(抜粋)

◆ ホストファミリー

言葉が通じなくても、相手を理解しようとすることは、とても大事なことだと思いま した。

◆ホストファミリー

ミャンマーの方は、日本語を勉強していて驚きました。着物を着てたくさん写真を撮りました。ミャンマーに会いに行きたいと思います。

◆ホストファミリー

英単語で言いたいことや聞きたいことや通じて嬉しかったです。そして、ミャンマーのことを知ることができてよかったです。また、何でも食べてくれて嬉しかったです。短い期間の中で、たくさんのことを体験してもらいたくて、たくさんのことを知ってもらいたくて、できることをしましたので、楽しかったです。

6. 参加者の対外発信



ミャンマーの伝統舞踊について



渋谷の交差点について 「ここは東京で1番有名な繁華街です」

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



- ・日本は、ものづくりにおける企業を支援する取り組みとして、行政以外にも民間企業が、起業家と大企業、大学、そして町工場を繋げる取り組みをしています。 ミャンマーの若者にも、このような取り組みを伝え、新しいものの見方や考え方を 学ぶ機会を与えたいと思います。
- ・参加者各自が、所属先の大学、職場、官庁に戻り、学生や同僚に集会や SNS を通じて、今回の経験で学んだことを伝えていきます。